

Anti-Surge measure protect

Surge Protective Device 避雷器



Coreシリーズ (コアシリーズ)

強雷対策 直撃雷／誘導雷サージ対策SPD

電源経路保護用

製品型式 AL-3350-332D-C

<http://www.srs-japan.com/>

三相3線AC240V保護



- ・直撃雷サージ試験波形、誘導雷サージ試験波形の双方に対応。
- ・SPD保守用ブレーカー内蔵ボックスタイプ
- ・大容量な保護性能。
- ・危険な過電圧を、より低い段階で処理し、安全な電圧を供給します。
- ・避雷器の状態を表示するLEDと警報接点搭載。
- ・SPD分離機能搭載。（SPD外部分離器を省略できます）

【保護対象】

動力系電源経路

SPD(避雷器)の性能は“最大放電電流”値と“電圧防護レベル”の電圧値で見ることができます。

- ・最大放電電流 : 避雷器が処理できるサージの大きさを示します。大きいほど大きなサージに耐える事ができ、避雷器の寿命も長くなります。
- ・電圧防護レベル: 侵入してきたサージの電圧をどれくらい低く抑える事ができるかを示します。低いほど機器類に与える影響が小さくなります。

SPD(避雷器)は最大放電電流が大きいほど、電圧防護レベルが低いほど、信頼性が向上します。

Class I 直撃雷(10/350 μ s)・Class II (誘導雷(8/20 μ s)対応

Core シリーズ

三相3線AC240V電源保護用SPD保守用ブレーカー内蔵 コアシリーズ

AL-3350-332D-C

保護対象 電源盤・機械電源部保護用SPD

特 長 直撃雷・誘導雷に対応。AC240V電源に使用可能。 本製品は直撃雷や誘導雷などの電路や、アースから侵入するサージ(異常電圧・異常電流)から機器を保護する為のSPD(避雷器)です。

用 途	三相 3 線 AC240Vのサージ対策		
製 品 型 式	AL-3350-332D-C		
公 称 電 圧	Uc(LtoL) 240V 100k SCCR	最大連続使用電圧Uc(AC) 300V	
保 護 配 線	L1 , L2 , L3 , E		
保 護 性 能	インパルス試験電流Iimp 30kA (10/350μs)		最大放電電流Imax 100kA(8/20μs)
	公称放電電流In(8/20μs) 20kA	繰返寿命(サイクル) 20kA 4000回:10kA 6000回	応答速度5ns以下
	電圧防護レベルUP In 1200V以下		
表 示 機 能	緑点燈: 正常 緑・赤点燈:配線誤りまたはアース異常 赤点燈:交換警告 無点燈:製品寿命・製品交換		
使 用 温 度	- 40℃ ～ +80℃ 結露無き事		
配 線 方 法	電源線:ブレーカーの二次側に接続 接地線:接地端子に接続に接続 警報接点:SPD①に配線		
筐 体 材 質	難燃性プラスチック UL-Class II		
筐 体	寸法 (最大) 長さ 190×高さ 190×厚 130 (mm) 重さ 1800g		
安 全 対 策	短絡保護ヒューズ内蔵 素子寿命時は通電確認LEDが消灯し、同時に警報接点出力 自動切離し機能搭載 (SPD分離機能)		
警 報 接 点	最大AC200V 0.5A C接点 1個 無電圧 避雷器の異常時に動作 最大AWG-15 (1.6sq)		
規 格	IEC60529／EN60529 IP20 RoHS指令適合 IEC 61643-1 JIS C-5381-11 JIS-Class I II		
取 付 方 法	壁取付		

※本製品は電源に侵入したサージをアースに放出します。使用時は必ずアース接地を行って下さい。

製品

・警報接点端子にケーブルは配線されておりません。
・配線、ボックス開口時はSPDをつけたまま鉄製基板を取り外して下さい。

結線図

極性を確認して電路に対して並列に接続します。
【注意】極性を間違えて配線すると故障の原因となります。

※ 保護したい電路や機器用の既設のブレーカの端子へ接続する場合、ブレーカが漏電検知型の場合は一次側に接続します。安全ブレーカの場合は二次側でも問題ありません。

- ・漏電検査時は電路から必ず、切り離してください。
- ・避雷針のアースとの共用はお止め下さい。
- ・配線は極力真っ直ぐに最短距離で行い、余った線は巻かないようにします。
- ・SPDの分解や改造などは絶対に行わないで下さい。
- ・本装置の使用で異常を認めた場合は直ちにご使用をお止め下さい。
- ・本製品の設置は有資格者が行ってください。

製品はその性能の範囲内でサージ侵入を極力防ぎますが、サージ侵入を完全に防ぐことを保証するものではありません。また、本製品の使用において発生したいかなる被害、損失に対して一切保証しかねますので、予めご了承ください。

